

気管支炎

監修／島根県斐川中央クリニック 院長 下手 公一

症状と所見

処方

体力は中程度（中間証）

激しい咳、呼吸困難、口渇

五虎湯
麻杏甘石湯

喘鳴、呼吸困難、気鬱

神秘湯

咽喉頭異常感
ヒステリー球

胸脇苦満（－）

半夏厚朴湯

胸脇苦満（＋）

柴朴湯

水様の喀痰を伴う咳
喘鳴、くしゃみ

小青竜湯

気管支炎が長引き咳が続いて眠れない

竹筴温胆湯

咳で胸が痛い

柴陷湯

体力がない（虚証）

吐きそうなほどの咳こみ
粘稠で切れにくい痰

麦門冬湯
滋陰降下湯

悪寒、熱感なし、全身倦怠、冷え、少陰病期

麻黄附子細辛湯

痰が絡む咳

清肺湯

体力低下、咳、痰、自汗

滋陰至宝湯



1point ワンポイント・アドバイス

気管支炎の治療では、抗生物質の他、主にステロイド薬や気管支拡張薬等が使用されていますが、寛解期や慢性症状、あるいはアレルギー性の気管支炎に対しては、特に漢方の有用性が大きいとされます。気管支炎の漢方治療では病態に即した多くの方剤がありますが、「肺熱が前面に出ているか」「水滯が背景にあるのか」をみるのが基本です。肺熱の場合は身体の防衛力の回復、水滯及び冷えの場合は水毒の体外への排泄を目的とした処方を選択します。